

# 交通事故防止のPOINT

※ 過去5年（H25～H29）に愛知県において発生した交通死亡事故を分析した結果です。

## 8月中旬から歩行者が多数被害に

# 8月

〈過去5年 旬間別 歩行者死者数〉



**増加傾向**

歩行者被害の交通死亡事故

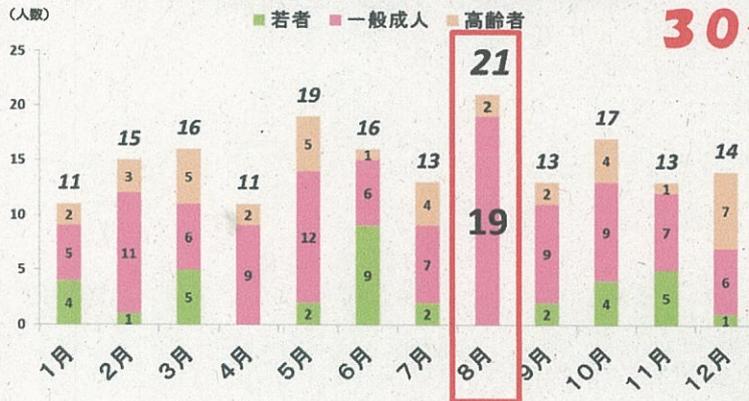
**日没時間前後に多発傾向**



**反射材の着用を！**

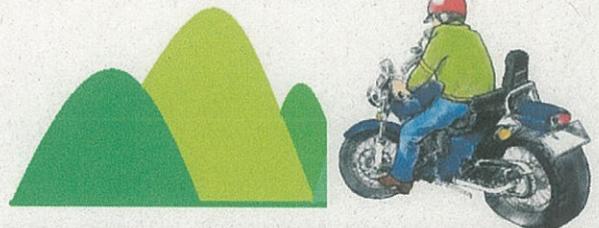
## 二輪車死者が年間最多

〈過去5年 月別 二輪車死者数〉



**30～50歳代のライダーが多い**

- 一般成人死者の通行目的は、**私用**(レジャー目的など)が7割以上
- **土日**に約半数が発生



※ 若者は16～24歳、一般成人は25～64歳、高齢者は65歳以上として区分しています。

歩行者が被害に遭う死亡事故は、日没時間が早くなるにつれ増加する傾向があり、8月中旬が起点となっています。

日没時間前後は歩行者の方がドライバーから見えにくくなりますので、反射材の活用と明るい服装に心掛けてください。ドライバーの方も、早めのライト点灯とハイビームを活用して視認性を確保するなど、安全運転に努めてください。

また、8月は二輪車死者数が年間で最も多く、特に30～50歳代のライダーが多くを占めています。交差点における出合頭事故や右折直進事故が多発していますので、二輪車利用の際は、交差点では特に速度を控え、安全確認を徹底するをお願いします。

